



Vol.36 2013年 11月発行

放送大学岡山学習センター

〒700-0082 岡山市北区津島中3-1-1

(岡山大学津島キャンパス内)

TEL:(086)254-9240 FAX:(086)254-9286

e-mail:okayama-sc@ouj.ac.jp

HP: [岡山学習センター](#) [検索](#)

放送大学と学生さんへの期待

岡山学習センター客員教員: 虎谷 哲夫



東日本大震災のあまりの悲惨さに我が国が呆然自失した平成23年3月末日に、私は岡山大学(大学院自然科学研究科/工学部生物機能工学科)を定年退職しました。定年退職後は「現役の時にはできなかったことをしたい」と漠然と考えていたので、前所長の齋藤清機先生から放送大学岡山学習センターへのお誘いがあったときには喜んで引き受けさせていただいた次第です。月日の経つのははやいもので、客員教員に就任してからもう2年半が過ぎようとしています。昨年多くの客員教員が退かれたので、いつの間にか私が最古参の1人になってしまいました。

私は現役時代、研究室から卒業・修了する学生・院生諸君に対して「人生は一生勉強の連続です」と口癖のように言ってきました。この言葉で、社会に出た後も専門の知識が古くならないように勉強を続けること、また新たに専門外のことも勉強する覚悟をもつようにと励ましたつもりです。考えてみますと、放送大学はまさしく生涯教育の場であり、「人生は一生勉強の連続です」を地で行く存在です。私は出版した酵素学の教科書のまえがきに、「・・・。生化学も酵素学も暗記科目ではない。基本原理を理解することが最も大切で、それができれば勉強が面白くなり、内容は自然に頭に入る。枝葉末節は丸暗記しなくても、必要に応じて教科書を参照すればよい。暗記しなければという強迫観念から解放されたとき、学生諸君は生化学や酵素学が好きになり、興味と好奇心が沸々と湧いてくるものと信ずる。・・・」と書いたことがあります。これはおそらくどの学問分野にも共通することではないでしょうか。放送大学はまさにこのような自律的な学びの場であり、強制されない勉強の面白さ、尊さこそが放送大学の原点であると思います。

放送大学の年2回の「入学者の集い」に出席すると、自分で学びたい(やりたい)ことを学び

(やり)、自分で目標とペースを決めて実行している人が、若者から年長者までこんなにも沢山いるという現実にも圧倒されます。この精神は定年退職者である私自身に求められることと全く同じであり、放送大学の学生さんの熱意と意欲から、逆に教員である私が大きな励ましと勇気をもたらっていると感じています。

私の担当は生化学です。集中講義として行う面接授業と月1回の特別セミナーにおいて、生化学、酵素学、バイオテクノロジーを中心に、最近は分子遺伝学、分子生物学にも幅を広げて講義をしています。そうすることで、「分子のレベルから見た生物学」の全体像を幅広く総合的に捉えることができると思います。我が国では子供達の理科(理系)離れが言われて久しいが、一方、我が国は大人達の「科学的発見」に対する関心度が先進国の中で最も低いという経済協力開発機構(OECD)の調査結果(2001年)もあり、両者は深く関連しているように思えてなりません。すなわち子供達の理科(理系)離れを防ぐには、大人達の科学に対する関心を高めることが重要だと思います。ノーベル化学賞を受賞された下村 脩博士がアメリカの自宅地下室に実験室をもっておられることは有名な話です。近年アメリカでは、安い資材や中古の機器を入手し、自宅で趣味として遺伝子組換え実験などバイオ研究を行う人達(Do It Yourself科学者、バイオハッカー、あるいはバイオパンクなどと呼ばれる)が増えているとか。我が国ではこのような話は聞いたことがありません。悪用の懸念を考えるとそこまでは行かなくても、せめて特別セミナーなどを通じて大人達のバイオへの関心を高めることに貢献できたら私としては望外の喜びです。好奇心を放し飼いにして、先端バイオの一端を楽しく勉強しましょう。

ご卒業おめでとうございます

卒業証書・学位記伝達式

日時：平成25年9月22日(日)11:00～

会場：岡山学習センター6階 講義室1



平成25年度第1学期 卒業生 (教養学部 27名)

教養学部

今城 国雄	小坂田 良巳	小野 恵子	加原 和洋	狩谷 愛子	黒川 直子
高坂 拓弥	小林 敏郎	坂本 啓子	篠山 佳世	武南 敏子	谷口 順子
近常 倫子	中村 忠道	難波 希久子	仁科 益子	堀川 和秀	正木 月満子
森島 幸政	山下 敬子	鷲須 千恵美			

(了承を得られた方のみ氏名を掲載しています。50音順・敬称略)

平成25年度第2学期 入学者の集い



日時：平成25年9月22日(日)13:30～

会場：岡山大学文化科学系総合研究棟

2階 共同研究室



入学者(大学院49人、学部213人)のうち39人が出席の中、開催されました。岡田所長の挨拶、来賓祝辞、卒業生による体験発表、サークル紹介、オリエンテーション等を行いました。

卒業生からのメッセージ

「心の壁を乗り越えて」 生活と福祉 卒業生 鷲須 千恵美

私は、病院で看護師をしています。日々の業務や子育てに追われる中、ある時一人の上司の言葉に魂が目覚めた。その言葉は、「自分にもっと自信をつけたら、もっとあなたらしさが発揮すると思う。学歴にその自信のなさの一つがあるのなら、他にも働きながら大学で単位を積んで大学卒業した先輩がいるわよ。助言はしてあげられても、行動するかしないかは、あなた次第だから」と。日々自分なりに努力していると思いついていましたが、ここ一番原点と言いましょか、基本に立ち返りを考えることにしました。日々安寧に暮らすことももちろん大事ですが、将来を見据えて、今何をすべきか考えさせられる瞬間でした。今までも勉強や研修参加はしていましたが、いろいろな勉強をしながら、大学卒業資格の学士を取得できる。これは私にとって、「勉強することで新たな発見で理解が深まり、そして学位取得もできるなんて一石二鳥以上のチャンス」と思い、放送大学に編入学をしました。

在学中は、仕事・家庭・学びの両立が本当に出来るのか、不安と挫折しそうな日がありました。職業柄夜勤があり時間は不規則で、業務以外の役割も多く、突然の母親の入院、次は自分が突発性難聴を患い入院となり、一時はこのまま大学卒業ができないのではないかと不安に思うこともありました。多忙な上に次から次へと起こる出来事に、「何か運が悪い」という思いを打ち消すように、「できることから始めるしかない。ピンチの次は

チャンスがくる」と確信し、「ピンチの壁は自分の心の壁で、この壁が乗り越えられるか試されている。ピンチから逃げずに、今自分がすべきことからやればよい」を意識して取り組みました。

放送大学では、職場や家庭・実生活で役立つ科目からストレスマネジメントやメンタルヘルスに関連する学びを意識して、知識を深めてまいりましたが、在学中に自分のモチベーションをあげて、メンタルヘルスマネジメント検定資格Ⅱ種・Ⅲ種の取得もしました。

私の第1ステップであった大学卒業・学位取得は、約3年でできました。これでまずは学歴コンプレックスも解消です。目標が実現すると、次のステップへもすぐにいけそうな気持ちになるのが不思議です。今後は「学修成果」を作成し、大学評価・学位授与機構へ申請し、看護学の学位取得に向け、頑張っていきたいと思っています。今回教養学部（生活と福祉コース）は、卒業しましたが、この大学での学びを職場でも、リーダーシップを発揮して成果を出せるように取り組んでいきたいと思っています。家庭と仕事の両立をこなしながら、私なりの大きな目標を実行するには、自分の強い意志と実践、そして家族と職場の協力があってのことだと思っています。今回は、このような機会を下さった大学の方々とまた共に学んだ皆様に感謝して終わりとさせていただきます。ありがとうございました。

グランドスラム賞受賞

今城 国雄 さんに

(平成25年第1学期卒業)

岡山学習センターよりグランドスラム賞が、
放送大学より名誉学生の称号が贈られました。

おめでとうございます！！



あなたも名誉学生を目指しませんか？

名誉学生とは、放送大学で教養学部の全てのコースを卒業された方々に、長年にわたり高い学習意欲を持ち続け、快挙を達成したことを顕彰するため設けられている制度です。

『放送大学名誉学生』 <学生生活の栞(教養学部)P90>

岡山学習センターでは「グランドスラム賞」をして表彰しています。

皆さんもぜひ挑戦してみてください！

老いのゆくえと可能性

岡山学習センター客員教員:西田 真寿美



放送大学の特別セミナーや面接授業では「老いを支え合う、老いのゆくえ、老いと家族、健康と病いの社会学」などをテーマに多様な老いのすがたとその可能性について、皆さまとともに考えてまいりました。受講者は50代から60代を中心に70代以上の方々も多くお見うけし、社会への関心や意欲を継続なさっているご様子に、いつも刺激と励みをいただきながら身が引き締まる思いで授業を進めてまいりました。その中で触れた「老年期の自立と依存」について私の雑感を述べたいと思います。

高齢社会は多くの方が老年期を迎えられる長寿社会です。その社会を実現した現在の日本はさらなる超高齢社会の扉を開こうとしています。幸福な老いとはなにか、老いに対する個人の意識や価値観もこれまでとは異なる考え方が模索されるようになりました。昨今では、「一人ひとりが健康に、個性を生かし、生きがいをもって、いきいき暮らす」「自らの生活に責任をもち、自立した生活を実践する」というポジティブな高齢者像が強調されています。その一方で、老いは医療・福祉や年金制度等の社会問題としても語られます。歳を重ねいくつになっても好奇心を抱き、多少は何かのお役に立って生きられるならば、幸いだと思えます。しかし人生には、身体的に自立しようとしても自立できない時期や状態があり、その依存性をそのままの状態を受けとめなければならないこともあります。

私の常勤の仕事の領域には老年社会学と老年看護学があります。看護学生とともに病いをもつ高齢者のケアに携わる機会があります。いつも胸を揺さぶられることは、どんなに重度な障害を抱えていても、感謝の気持ちと学生に励ましを与えてくださることです。一日中をベッド上で過ごし発する言葉もほとんどない方、重度の認知症を抱え学生の名前も記憶していただけない方、そのような方々に日々の声かけとからだのケアを積み重ねていくうちに、学生をねぎらう言葉を口にし、目を合わせて笑顔を返してくださいます。言葉だけではない五感に刻まれていく記憶がその方のこころを開く鍵になっているように思えます。そして、からだの依存性のうちに秘められている想像力と創造力に気づかされ、ケアする側がケアされていることを思わずにいられません。

老いに対する考え方は「依存性」だけではなく、人が生きていく力を獲得していくプロセスとして、生産性から解き放たれた高齢者の潜在的な「創造力・想像力」の可能性に、もっと目を向けることが大切ではないでしょうか。自立と依存の両極のはざまにある、弱っていくからだに向き合うとき、人生の最後のステージをどのように生きるのか死を迎えるのか、老いることの可能性と希望を探していきたいと考える日々です。

最後に、放送大学岡山学習センターで出会えた皆さまに心より感謝いたします。

岡山県立図書館連携講座のご案内

日	時	演 題	講 師
11/30	13:30~15:00	公法と私法ってどういう意味？	岡田 雅夫 先生
12/14	13:30~15:00	クリスマスソングと英語	服部 美佳 先生
1/11	13:30~15:00	統計グラフの功罪	垂水 共之 先生
2/8	13:30~15:00	毛管防根給水紐を用いた給液栽培システムの開発	梶田 正治 先生
3/8	13:30~15:00	地球の気候変動と二酸化炭素	酒井 貴志 先生

開催場所:岡山県立図書館2階 デジタル情報シアター

参加費は無料。

お申し込みは岡山県立図書館(TEL:086-224-1286 / FAX:086-224-1208)まで

学習相談・修学相談のお知らせ

学生の皆さんの学習及び修学上の様々の問題について、客員教授の先生が方指導・相談に応じます。科目履修方法、学習方法、また放送大学での修学上の疑問や不安、悩みなどについて、皆さんを支援します。お気軽に学習相談室をお訪ねください。

各先生方の担当時間と専門分野は下表の通りです。（月に1～2回程度）

※詳細は「学習相談・特別セミナー日程表」をご覧ください。

[平成25年10月1日現在]

相談日	時間	担当教授	(専門分野)
随時	原則 10:00～18:00		岡田 雅夫 先生 (法学)
第1・2火曜日	13:00～17:00		虎谷 哲夫 先生 (生化学)
水曜日	13:00～17:00		垂水 共之 先生 (統計科学)
第4水曜日	10:00～14:00		榊田 正治 先生 (園芸学)
木曜日	10:00～14:00		上浦 洋一 先生 (電子工学)
第2・3金曜日	10:00～14:00		酒井 貴志 先生 (有機化学)
※月1回：土曜日 特別セミナー開催日	13:00～17:00		西田 真寿美 先生 (老年看護学)
※月1回：土曜日 特別セミナー開催日	13:00～17:00		山田 剛史 先生 (教育統計学)
土曜日	10:00～14:00		服部 美佳 先生 (英語学)
※月1回：日曜日 特別セミナー開催日	13:00～17:00		岩佐 和典 先生 (臨床心理学)

放送大学ホームページ活用方法

※学生生活の葉(教養学部用)P113～P117
(大学院用)P80～P84



**ログイン画面にて
ログインIDとパスワードを入力します。**
※IDは学生番号（ハイフン除く数字10桁）
初期パスワードは生年月日（西暦8桁）です。

下の①、②、③の中から使用するものを選択

①、②、③の中から使用するものを選択

①キャンパス・ネットワーク・ホームページ



- ・ 大学本部、学習センターからのお知らせ
- ・ 放送授業科目の視聴（ラジオ全科目、テレビ科目の一部）
- ・ WEB学習システム、通信指導（一部科目を除く）
- ・ 質問箱（放送授業の内容について質問したり、Q&Aを閲覧できます。）

②システムWAKABA



- ・ 科目登録申請
- ・ 成績や履修科目の確認
- ・ 各種届出（住所の変更、所属コースの変更、休学届など）

③G-mail



- ・ メールの送受信 通常のメールとしてご利用いただけます。
- ※メールアドレスは学生番号(ハイフンなし)@campus.ouj.ac.jp



通信指導について

※詳しくは学生生活の葉(教養学部)P65～P68をご覧ください。

※注意事項※

通信指導が未提出または不合格の場合、単位認定試験の受験は出来ません。
下記の提出期限等をご確認の上、提出をお願いいたします。

★郵送による提出★

期限：**平成25年11月13日(水)～11月29日(金) 放送大学本部必着**

※提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、余裕をもって送付してください。

★WEB通信指導による提出★

WEBによる提出期限：**平成25年11月6日(水) 10:00～11月29日(金) 17:00**

※利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合にも、未提出扱いとなりますので、余裕をもって提出してください。

面接授業追加登録について

※学生生活の葉(教養学部用)P62～P64
および面接授業時間割表参照

定員に空席のある科目については、学習センター、サテライトスペースにて追加登録を受け付けています。

★空席発表★

平成25年10月18日(金)AM10:00～
最新の空席状況については、学習センター掲示版およびシステムWAKABAにてご確認ください。

★追加登録受付期間★

平成25年10月24日(木)AM10:00～
※申請は原則として当該面接授業の開講初日の1週間前までとなります。ただし、1週間以上前であっても、空席が埋まり次第受け付け終了となります。

★学習センター窓口で登録★

受付期限内に学生証・所定の授業料をお持ちの上、事務室へお越しください。

岡山学習センター開講 追加登録対象

科目名	日程	受付締切日
計測心理学2	11/30(土)・12/7(土) 12/14(土)・12/15(日) 各日 3限～4限	11/24(日)
アウグスティヌスの倫理思想	11/30(土)・12/1(日) 両日 1限～4限	11/24(日)
化学で理解する自然と人間社会	12/7(土)・12/8(日) 両日 1限～4限	11/30(土)
中国語会話	1/11(土)・1/12(日) 両日 1限～4限	1/4(土)

※空席状況は毎日変動します。必ずお申込み前にご確認ください。

★郵送での申し込み★

下記①～④を同封して、【現金書留】で岡山学習センターへ郵送してください。

①追加登録申請書(学習センターホームページ・キャンパスネットワークホームページからダウンロード、もしくは、平成25年度2学期面接授業時間割表の巻末にある申請書を利用。)

②所定の授業料(現金)

③返信用封筒(宛先を明記、80円切手貼付のもの)

④学生証のコピー

※一度登録した科目の変更・取り消しは致しかねますので、ご了承ください。

※申請については、窓口にて直接申請される方が優先となりますことをご了承願います。

※除籍について

科目登録申請及び授業料納入を4学期間(休学期間除く)行わなかった場合、自動的に除籍となります。平成25年度2学期末(平成26年3月末)に除籍予定対象となる方は、今学期の面接授業追加登録が学習を継続する最後のチャンスです!

なお、学習意欲がありながら、やむを得ない事情で登録手続きが出来ない方は、下記の期限までに事務室までご連絡下さい。

※期限：**平成26年1月4日(土)まで**(※平成25年12月29日(日)～平成26年1月3日(金)は閉所日です。)

同窓会だより

同窓会では、放送大学叢書の割引販売を行っています。叢書の種類は、現在20冊を超えています。今回も前回に続き叢書の内容紹介です。今回は、「徒然草をどう読むか」についての紹介です。

「徒然草をどう読むか」 島内 裕子著
定価 ￥1,600
従来、章段毎に読まれる「テーマ読み」が多かった。古文の教科書も然り。著者、島内裕子先生は「一枚一枚違う切手やカードのようなものをたくさん貼りつけて遠くから離れてみると全体が一つの全く違う絵になる美術の技法があるように徒然草にもこ

のような側面がある」と章段毎ではなく徒然草の連続読みをすすめる。「兼好は決して最初から人生の達人ではなかった。徒然草を執筆することによって成熟していった人間である。」と説く。
この本を手掛かりに後世に多大な影響を残した徒然草及び兼好の新たな側面に気付くことが出来る。徒然草は現代の我々にも通じている。

以上 柴田 記

叢書の件につきましては「ja4pml@gmail.com」(水川)までご連絡ください。また、叢書の見本は学習センター6階の同窓会事務所前に展示しています。

サークル紹介

硬式テニスクラブ【原則毎週日曜日14:00~】	場所：岡山大学工学部テニスコート 技術に関係なくどなたでもご参加ください。
英会話クラブ【毎月第2・第4土曜日13:00~15:00】	ネイティブゲストを招いてのフリートークを行っています。 英語を話すチャンスです☆
パソコンクラブ【毎月第1・第3土曜日13:00~18:00】	コミュニケーションインフラとしてのパソコン勉強会や、各種講座を行い会員どうしの交流を図っています。
俳句クラブ【毎月第4日曜日 午後】	学生同士で楽しく学び合う精神をモットーに和やかな句会を開いています。
カメラクラブ【原則毎月第2日曜日13:00~16:00】	一緒に楽しみながら写真力をUPしましょう。撮影会や宴会、各種行事に参加ください。作品は大学内に展示できます。
中国語クラブ【月2回例会、第1・第3日曜日13:00~15:00】	楽しい雰囲気勉強しています。 語学だけでなく、中国の生活や歴史、旅行等も行います。
日常の心理クラブ【毎月第1土曜日10:30~12:30】	毎月1回、心理学関連の講座を楽しんでいます。 講師は自薦・他薦で会員が務め、これもいい勉強になります。
インドネシア語クラブ【原則毎週水曜14:00~16:00】	とにかくおしゃべり（対話）を楽しむクラブです。岡山在住のインドネシア人とも触れ合う機会有り。
文学クラブ【月1回例会】	自分の好きな本や読みたい本を題材に話し合いをしたり、詩や小説を創作したりしています。
歴史クラブ【隔月1回程度の例会】	講師を招いて歴史講座を開催したり、課外学習に行ったりして見識を深めています。
ハチハチクラブ 【毎週水曜日、インドネシア語クラブが始まる前、13:00~】	“何でも”クラブですが、健康太極拳を主体にしています。 その他、不定期に旅行やパーティなどをします。
科学わくわくクラブ【原則最終日曜日午後例会】	手軽な実験・工作を行い科学への理解を深め、学校や公民館等に出前して「科学わくわく講座」を行います。

特別セミナー予定表(11月～3月)

単位取得に関係なく、垂水先生のセミナー(放送大学生又は卒業生のみ受講可)を除いて、どなたでもご参加いただけます。

申し込み不要・参加費無料です。お気軽にご参加ください。【セミナー会場:放送大学岡山学習センター5階or6階】
 ※先生のご都合で日程に変更が出る場合がございます。その場合には事前に学習センター内の掲示や放送大学岡山学習センターのホームページなどでお知らせをいたしますので、ご確認のうえご参加ください。

講師名	講座名	開催日	時間	概要
虎谷 哲夫 先生	分子生物学入門 連続出席が望ましい	10/15(火)	13:30	この特別セミナーでは、現在のバイオテクノロジー(生物工学)に関心はあるが、生物学を本格的に学んだことのない社会人を対象に、バイオテクノロジー関連の情報を整理して理解できるようになることを目指して、分子生物学の基礎について勉強します。
		11/26(火)	～	
		12/17(火)	～	
		1/21(火)	～	
		2/18(火)	15:00	
栢田 正治 先生	野菜の生育特性と その制御法 連続出席が望ましい ※2月は図書館連携講座	10/ 9(水)	13:30	野菜の栽培を行うに当たって、個々の植物としての生育特性を知っておくことはきわめて重要です。前期に引き続き5回、植物としての生活環を時計回りに進めます。加えて参考書の個別質問事項についても解説を行います。
		11/ 6(水)	～	
		12/11(水)	～	
		1/ 8(水)	～	
		3/12(水)	15:00	
垂水 共之 先生 ※放送大学の学生のみ	データ解析の実践 連続出席が望ましい ※1月は図書館連携講座	10/16(水)	13:30	前期に引き続き、フリーの統計ソフト「R」を使った多変量データ解析のセミナーです。これまでにRを使ったことが無い人は来年4月までお待ちください。後期はこれまで、Rを使ったことがある経験者に限定します。自分のノートパソコンを持参する人は事前に相談ください。
		11/20(水)	～	
		12/18(水)	～	
		2/19(水)	～	
		3/19(水)	15:00	
上浦 洋一 先生	半導体の世界(Ⅱ) デバイスの応用 連続出席が望ましい ※10月は図書館連携講座	11/28(木)	10:30	前期のセミナー「半導体の世界(Ⅰ):材料とデバイスの基礎」では、半導体の材料特性とデバイスの動作原理を、基礎から理解するという一貫した立場から講義しました。これを踏まえて、本セミナーでは各種半導体デバイスについて解説します。
		12/19(木)	～	
		1/16(木)	～	
		2/20(木)	～	
		3/13(木)	12:00	
岡田 雅夫 先生	『人が人を裁くということ』(小坂井敏晶 岩波新書 2011年)を読む	10/10・24(木)	13:30 ～ 15:00	1学期に引き続き、『人が人を裁くということ』(小坂井敏晶 岩波新書 2011年)を読む。本書は、神ならぬ人が人を正義の名において裁くことの意味を探ろうとするもので、とくに、行為者の責任をいかにして問うことができるかを論じるものです。今回は、同書の第Ⅲ部「原罪としての裁き」と題する部分を、基本的には輪読形式で読みながら、ディスカッションする予定。
		11/7・21(木)		
		12/5・19(木)		
		1/9・16(木)		
		*2/13・20(木)		
*3/13・27(木)	2/6が2/13に 3/6が3/13に 変更			
酒井 貴志 先生	化学の目で見る 自然と環境 連続出席が望ましい ※3月は図書館連携講座	10/18(金)	10:30	自然の中で植物や昆虫が生き残るために化学の素晴らしい仕組みが造られてきました。一方、その自然や環境が壊されようとしています。人間が自然と共存していくための化学の役割について考えて行きたいと思えます。
		11/22(金)	～	
		12/13(金)	～	
		1/17(金)	～	
		2/28(金)	12:00	
西田 真寿美 先生	健康と病いの社会学	10/12(土)	13:00	本セミナーでは1学期に引き続き、社会の中で健康と病いはどのようにとらえられているのか、「健康と病いの社会学」の視点から諸問題を総合的にとりあげ、共に考える機会といたします。
		11/24(日)	～	
		12/15(日)	～	
		1/10(金)	～	
		2/ 8(土)	14:30	
3/ 8(土)	14:30			
山田 剛史 先生	リサーチリテラシー入門 一研究のための基礎を 身につけよう 連続出席が望ましい	10/ 5(土)	13:00 ～ 14:30	リサーチリテラシーとは、「研究(リサーチ)を遂行するために必要な基礎的能力」のことです。本セミナーでは、研究を進めるために必要となる基礎について、紹介して行きます。テキストに沿って行きますので、テキストを事前に入手して置いて下さい。テキスト:山田剛史・林創 大学生のためのリサーチリテラシー入門一研究のための8つの力 ミネルヴァ書房
		11/24(日)		
		12/26(木)		
		1/11(土)		
		2/ 9(日)		
3/ 1(土)				
服部 美佳 先生	生きた英語への扉 ※12月は図書館連携講座	10/12(土)	15:00	語学に必要な学習方法を学びつつ、聞き取る力を養う演習を行います。今年度は映画『Back to the Future』を使用し、セリフの音読などを行ないます。レベルは問いません。生きた英語に触れながら少しでも楽しく学習を進めるお手伝いができれば幸いです。
		11/24(日)	～	
		*1/11(土)	16:30	
		2/ 8(土)	11/11のみ 15:30～	
		3/ 1(土)	15:30～	
岩佐 和典 先生	臨床心理学の最前線 連続出席が望ましい	10/ 5(土)	15:00	本セミナーでは、臨床心理学の基本的な知識を前提としながら、様々な援助方法や精神疾患、心理的・行動的問題に関する最新の知見を講義する。後期は、特に精神疾患に関する臨床心理学的・異常心理学的知見を中心に取り扱う。
		*11/24(日)	～	
		12/ 8(日)	16:30	
		1/12(日)	11/24のみ 10:30～	
		2/ 9(日)	10:30～	
3/ 2(日)	10:30～			

事務室からのお知らせ・行事案内



情報配信サービス「まなぴー通信」

岡山学習センターでは、パソコンまたは携帯電話のメールアドレスを登録された方に向けて最新の学習情報や行事などのお知らせを「まなぴー通信」としてメール配信しています。(月1回程度)
メールアドレスの登録方法は、岡山学習センターのメールアドレス「okayama-sc@ouj.ac.jp」に氏名・学生番号・学生種別・電話番号を記載して、件名に「まなぴー通信申し込み」とお書きください。
必ず登録を希望するメールアドレスからのメール送信をお願いします。
学習センターに直接お越しいただきまして書面での登録も受け付けていますので、お気軽にお申し込みください。

学生証の受け取りはお済みですか？

学生証は所属の学習センターにて交付します。下記に該当する方はお早めに所属の学習センターにてお受け取りください。

- ◆平成25年度第2学期に新規入学または継続入学された方
学生証を受け取る際は、入学許可証(ハガキ)を提示してください。
- ◆有効期限(学生証の左下に記載)が平成25年3月以前に切れている方
新しい学生証を受け取る際は、期限切れの学生証を提示してください。

※学生証の交付は事前に「写真票」を提出していただいている必要があります。写真票をまだ提出されていない方は、システムWAKABAの「学生カルテ」から登録するか、大学本部学生課入学受付グループへ提出してください。

なお、学生証の交付は、写真票を提出してから2週間程度かかりますので、あらかじめご了承ください。

駐車場の利用について(1時間以上駐車では有料になります)

岡山大学津島キャンパス全ての駐車場が利用できます。駐車場を利用する場合、駐車許可証が必要です。

駐車許可証の申請は当センター事務室へお願い致します。

申請の手続き方法や、必要なものなどは「平成25年度 利用の手引き」の8ページから9ページに記載していますので、ご参照ください。

- ◆駐車料金
 - ①一般駐車許可証:年額 2,400円(月割も可能)
 - ②休日駐車許可証:年額 1,200円
 - ③特別駐車許可証:月額 500円

◆無料サービス券で対応可能なもの ※今年度より、面接授業も対応となっています。

- ①単位認定試験 ②学位記伝達式 ③入学者の集い ④面接授業 ⑤特別セミナー
- ⑥特別講演会 ⑦赤レンガフォーラム ⑧1日体験入学 ⑨図書館ガイダンス

※無料サービス券の発行は入口ゲートでお取りになった黄色い駐車券を事務室窓口へお持ちのうえ申し出て下さい。

※随時の通学、研修旅行や大学祭等のイベント、サークル活動はサービス券の対象外になります。

行事案内

津山市立図書館・放送大学岡山学習センター連携講座

①古代国家と美作国

日時：平成25年11月17日(日) 14時～15時30分
講師：難波 俊成 先生 (就実大学人文科学部非常勤講師)
場所：津山市立図書館視聴覚室 (津山市新魚町17 アルネ津山4階)
申し込み不要・参加無料

②学校教育の中の発達障害

日時：平成25年11月24日(日) 14時～15時30分
講師：柳原 正文 先生 (岡山大学大学院教育学研究科教授)
場所：津山市立図書館視聴覚室 (津山市新魚町17 アルネ津山4階)
申し込み不要・参加無料

お問い合わせ

津山市立図書館 (TEL 0868-24-2919)
放送大学岡山学習センター (TEL 086-254-9240)

学生研修旅行

大山祇神社と平山郁夫美術館等“瀬戸内しまなみ海道”の歴史と文化の研修を予定しています。

日時：平成25年11月25日(月) 午前7時45分 岡山学習センター入り口玄関前集合
行き先：大山祇神社～平山郁夫美術館～千光寺公園(時間の都合で変更あり)
参加費：3,500円(昼食代・入館料込)
募集定員：40人 ※募集期間中に募集人数に達した場合、その時点で締め切りとなりますので、ご了承ください。
申込期限：10月15日(火)～11月15日(金)
申込方法：岡山学習センター事務室窓口までお申し込みください。

行事報告

ホームカミングデイ

放送大学岡山学習センターでは、放送大学の30周年記念と合わせまして、「ホームカミングデイ」を開催いたしました。

ホームカミングデイは3部構成となっていて、1部が放送大学 宮下 志朗 教授による「記念講演」、2部が宮下志朗教授を含めた歴代所長とのパネルディスカッション、3部が卒業生との懇親会を行いました。各部の詳細などは岡山学習センターのホームページにも記載していますのでご覧ください。

日時・場所/平成25年11月4日(月)

- ・第一部：14時～15時30分(講演：岡山大学文化科学系研究棟2階 共同研究室)
- ・第二部：15時40分～17時分(パネルディスカッション：岡山大学文化科学系研究棟2階 共同研究室)
- ・第三部：17時30分～19時30分(懇親会：岡山大学南福祉施設・ピーチユニオン4階)

参加者：87名

地域リーダー育成を考える講演・討論会

岡山県北部において、地域おこし等に携わっているNPOの代表各位にお集まりいただき、放送大学田城孝雄教授(内閣官房登録：地域活性化伝道師)による「地域再生」を中心とした講演を基に、今後の活動計画及び地域リーダー育成に関する討論を行いました。

日時：平成25年11月9日(土)14時～16時

場所：津山国際ホテル(津山市山下98-2) 定員：100名

スケジュール

11月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

- 1日(金)教員免許更新講習生募集開始
- 6日(水)卒業研究報告書提出期限
- 15日(金)第1学期学生募集開始(Web)
- 29日(金)通信指導提出期限
- 30日(土)県立図書館連携講座

11月



12月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 1日(日)第1学期学生募集開始(郵送)
- 2日(月)教員免許更新講習生募集締切
- 8日(日)体験入学
- 14日(土)県立図書館連携講座
- 18日(水)修士論文提出期限
- 21日(土)体験入学
- 29~31日(日~火)年末休業

12月



1月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 1~3日(水~金)年始休業
- 12日(日)体験入学
- 21日(火)体験入学
- 24日(金)単位認定試験(大学院・看護再試験)
- 25日(土)単位認定試験(大学院)
- 26~30日(日~木)単位認定試験(学部)※閉所日を除く
- 31日(金)臨時閉所日

1月



2月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

- 1日(土)教員免許更新講習放送・配信開始
- 1~2日(土~日)単位認定試験(学部)
- 4日(火)臨時閉所日
- 8日(土)県立図書館連携講座
- 9日(日)体験入学
- 14日(金)第1学期科目登録申請受付
- 15日(土)第24回赤レンガフォーラム
- 16日(日)体験入学
- 19日(水)体験入学
- 20日(木)教員免許更新講習インターネット再配信
- 22~23日(土~日)教員免許更新講習修了認定試験
- 27日(木)第1学期科目登録申請受付締切(郵送)
- 28日(金)第1学期学生募集締切
第1学期科目登録申請受付締切(Web)

2月



3月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 8日(土)県立図書館連携講座
- 21日(金)平成25年度学位記授与式(NHKホール)
- 23日(日)第2学期卒業証書・学位記伝達式
第1学期入学者の集い

3月

